

# みんなの声



校長 森本 洋司 令和4年6月15日発行

## 5月の全校集会「第一歩を踏み出しましょう」

5月6日の全校集会では、子どもたちに始業式の私の話「学校教育目標」について振り返らせ、次のようにスライドを示しながら、子どもたち一人一人に「自ら目標

**校区を見よ**  
日本を見よ  
そして、世界を見よ  
そんな時代になっています。

さあ、みなさんも、  
自分で目標を決め、  
自分で学び、  
努力を始めましょう！

まずは、できそうなことから、  
係活動 勉強  
手伝い 委員会活動  
あいさつ 早寝早起き

担任の先生からも  
いろいろな取組や、  
コンクール・作品展  
の募集

## 子どもたちの懸命さが輝いています

4月20日に、熊本地震を教訓に今後も起こり得る大地震に備えて避難訓練を実施しました。担任からの「押さない、駆け出さない(室内)、しゃべらない、戻らない(お・か・し・も)」をしっかりと意識して、全児童が真剣に取り組んでいました。防災意識の向上が図れました。



5月10日の代表委員会では、「児童会テーマ『みどりいっぱい 優しさと笑顔あふれ 最後まで挑戦するきらり！菱っ子』のきらり度を上げよう」をテーマに、運営委員会の児童中心となって、会を進行し、各学級や委員会の代表児童も真剣に臨んでいました。



## 子どもたちの交通安全、地域の方や保護者に支えられています

5月12日の「春の交通教室」、及び5月19日の「自転車教室」では、交通安全協会の方々からの支援をいただき、大和分会長

※ 個人情報保護からは講話もしていただきました。お陰で、子どもたちは、交通の決まりについて再認識し、これからも決まりを守って安全な生活を心掛けようという意識が高まりました。



また、子どもたちの登下校については、定期的に交通安全協会・防犯パトロール隊・学校安全パトロール・自治協議会・老人会、社会福祉協議会等の地域の方々、おやじの会・PTAとして保護者の皆様にも支えていただいております。感謝いたします。

本校の教職員も勤務時間外のボランティアとして、週1回交代で朝の交通指導を行い、朝の会や帰りの会等での安全指導を定期的実施しています。

を決め、自ら学び、努力を始めましょう。」という主旨で話しました。

校長先生からも  
読者のひろばへの  
情報発信隊  
緑化ボランティア隊

みなさん、  
一人一人が主役です。  
がんばっている人を見たら  
応援してくださいね！

子どもたち一人一人に「学校生活での『第一歩』を踏み出してもらいたい。」と考えています。

大人から見ると、「大きな一歩」であったり、「小さな一歩」であったりするでしょう。しかし、子どもたち一人一人にとって、それは「自ら考えた第一歩」であり、大小など考えていないはず。もちろん子

どもですから、「これを頑張る」と決めても、長く続かなかつたり、取り組みたいことが変わったりすることもあると思います。志は大切ですが、子どもたちはいろいろな経験を通して、成長していくのですから、私たち大人(保護者や教職員)が認めたり褒めたりしながら、長い目で支えることが大切です。一人一人の目標達成に向けた努力は、子どもたちが「させられること」ではなく、「自ら行うこと」である必要があります。ご家庭では、まず話を聞くところから始めてください。【裏面に続く】

## 新聞の投稿欄に本校児童の原稿が掲載されました



就任式での「歓迎の言葉」等での活躍のあった※個人情報保護に「頑張っていることを発信してみませんか。」と声を掛けたところ、快く返事をして取り組んでくれました。

表面に記載した「5月の全校集会」の中でも、「既に自らの目標に向けて努力を始めた人がいます。」と全校児童に紹介しました（掲載原稿は、以下参照）。そして、関連して、「読者のひろばへの情報発信隊」と「緑化ボランティア隊」の募集も紹介しました。目標として頑張る内容は、何でもよいのですが、知らないことには取り組みようがないので、大人が紹介して、チャンスや機会を広げてあげることも大切だと考えています。この二つのことは、私が中学校の担任をしていた頃から継続して取り組んできたことで、小学校の教頭になっても続け、校長になった現在も取り組んでいることです。

全校集会後に自ら希望した児童（「読者のひろばへの情報発信隊」3人、「緑化ボランティア隊」23人）で活動しています。「読者のひろば情報発信隊」について、5月の投稿として発信した原稿の中で、※個人情報保護の原稿が既に掲載されました（以下参照）。自らチャレンジして、「出版物に自分の作品が掲載された」という経験を持つ子どもは、そう多くはないと思います。達成感を得たり自信を付けたりする機会になったことと思います。大人から見ると「すごいこと」なのかもしれませんが、掲載された子どもにとっては「掲載されることは、自分が既に経験したこと（日常生活の中での普通のこと）」となり、次のステップ（レベルアップした目標）に向けて取り組み出す基（自信やきっかけ）となることとなります。経験のない子どもたちからすると「自分には無理なこと」であっても、経験した子どもにとっては「自分には可能なこと・何とかなること・普通のこと」となっていくます。特に、自ら希望して取り組み始めたことですので、特に意識することもなくこのような感覚で生活していくことになっているようです。そして、「目標を決め、自ら学び、努力すれば、他のことでも何とかなる…」と考えてくれることとなるのではないのでしょうか。

この取り組みは、本校の教育目標を子ども向け分かりやすく言い換えた「目標をもって、自分から学び、心も体も成長させて、頑張る子どもを育てること」につながることです。申し込んでいなかったが、やってみたいというお子様がいましたら、まだ受け入れ可能ですので、担任か、私に申し出るよう伝えてください。

※ 個人情報保護等のため、ホームページ上での公表を控えさせていただきます。